がん化学療法個人計画書

患者の状態により輸液の内容・量及び投与速度を変更する場合があります。

科名	適応がん種	レジメン名
	非小細胞肺癌	CBDCA＋weekly PTX ＋ベバシズマブ
投与予定	休薬を含めて 1クール28日4～6クール施行、以降ベバシズマブ単独	

day1　day8　day15　day22　day28

1クール28日

Day1

アプレピタント　125mg　内服

ジフェンヒドラミン　50mg　内服

点滴静注　30分
生食　100ml
パロノセトロン　0.75mg
デキサメタゾン　9.9mg
ファモチジン　20mg

点滴静注　30分
生食　100ml

★プライミング・フラッシュ 生食必要★

点滴静注　60分
生食　250ml
パクリタキセル　70mg/㎡

点滴静注　60分
生食　250ml
カルボプラチン　AUC=5

点滴静注　※90分
生食バッグ　100ml
ベバシズマブ　15mg/kg

点滴静注　5分
生食　50ml

Day8

ジフェンヒドラミン　50mg　内服

点滴静注　30分
生食　100ml
デキサメタゾン　8.25mg→6.6mg
ファモチジン　20mg

点滴静注　30分
生食　100ml

★プライミング・フラッシュ 生食必要★

点滴静注　60分
生食　250ml
パクリタキセル　70mg/㎡

4～6クール終了後3週毎（原則）
可能な限りベバシズマブ単独

点滴静注　5分
生食　50ml

点滴静注　※90分
生食バッグ　100ml
ベバシズマブ　15mg/kg

点滴静注　5分
生食　50ml

Day15

Day8と同内容

・本レジメンにおける体表面積は藤本の式で計算。
又、GFRに関してはCalvert式のGFRをJelliffeの式から計算。
○放射線療法については、原則行わない。
○デキサメタゾン患者の状態に合わせて6.6mgまで減量可。

※パクリタキセルの投与時には0.22ミクロン以下メンブランフィルターを用いたインラインフィルターを通して投与すること

※初回投与の忍容性が良好であれば、2回目は60分。2回目においても忍容性が良好であれば、それ以降は30分。

備考

薬品名	申請投与量	計算量	実際の投与量	薬価最小組み合わせ			備　考
パクリタキセル	70 mg/㎡	#REF! mg/body	mg/body	内訳	30mg	0mg	患者の状態に合わせて60～70mg/㎡で使用
					100mg	0mg	
カルボプラチン	AUC=5	#REF! mg/body	mg/body	内訳	150mg	0mg	男性投与量 患者の状態に合わせてAUC=5～6で使用
					450mg	0mg	
		#REF! mg/body	mg/body	内訳	150mg	0mg	女性投与量 患者の状態に合わせてAUC=5～6で使用
					450mg	0mg	
ベバシズマブ	15 mg/kg	#REF! mg/body	mg/body	内訳	100mg	0mg	
					400mg	0mg	

併用内服薬	用量（1日量）	用法	投与期間
ジフェンヒドラミン	50mg	パクリタキセル投与30分前までに内服	day1、8、15
アプレピタント	125mg	カルボプラチン投与60分前までに内服	day1
アプレピタント	80mg	分1　朝食後	day2、3
デキサメタゾン	8mg	分2　朝昼食後	day2～4